

上肢機能の回復

「手を上手に使うこと」は、人が社会性をもって生活するのに欠かせない動作のひとつです。当院では上肢機能の回復を目的とした「**手外科**」にも力を注いでいます。



外傷疾患

外傷による肩から手における骨折、靭帯損傷、脱臼、神経損傷、外傷変形治癒など広範囲にわたる疾患を対象としています。身体への侵襲を考慮した保存療法や、早期社会復帰を可能とする外科的治療を選択します。

子どもの外傷について、多くは保存療法が選択されますが、必要に応じて外科的治療にも対応可能です。

神経の障害



腕全体のしびれ、肘周囲のしびれ、手のひら、指先のしびれなどは上肢の末梢神経障害が疑われます。

主に正中神経、橈骨尺骨神経障害、手根管症候群などの疾患があります。画像検査や知覚検査、超音波検査、神経伝達速度など、十分な検査を重ねた上で適切な治療を提供することが第一と考えます。

スポーツ障害



適度な運動は健康維持に重要なことですが、競技スポーツとなると話が異なります。練習を重ね技術を磨く反面、身体的には大きな負荷が掛かっています。

繰り返す動作による肩・肘関節の炎症、離断性骨軟骨炎、腱板断裂、肘内側副靭帯損傷、関節内遊離体など様々な病態に対し適切な治療と継続したリハビリテーションを提供しています。



関節の変形

上肢の関節変性疾患には様々な原因があり、痛みや巧緻性障害など日常生活に大きな支障をきたします。肩、肘、手関節などの関節症に対し関節鏡を用いた手術療法を行っています。

また、関節リウマチにより生じる上肢機能障害に対して、滑膜切除や関節固定術、人工関節など手術の提案も行っています。



マイクロサージャリー



手の切断された血管や神経・腱は細く、マイクロサージャリー（顕微鏡拡大下での手術）の技術を使って手術を行います。指の再接着手術も可能です。また、欠損した組織を体の他の部位から移植して再建する手術（皮弁）も行っています。



音楽家の手

プロ・アマを問わず、音楽家は楽器演奏において日常生活とは異なる身体的負荷を繰り返し行います。

その結果使いすぎ状態になったり、様々な障害を来すことがあります。音楽家の手の障害でお困りの患者様も是非御相談下さい。